

第 8 回 志津見ダム水源地域ビジョン推進委員会資料

第 7 回委員会以降の取組経過報告書

平成 31 年 2 月 26 日

志津見ダム水源地域ビジョン推進委員会事務局

第7回 志津見ダム水源地域ビジョン推進委員会 議事概要

- 1 開催日時 : 平成30年2月9日(金) 16:00~17:30
- 2 場 所 : さつき会館(島根県飯石郡飯南町八神117-1)
- 3 出席委員 : 山崎 英樹 委員長、山下 潔 委員、上田 進一 委員、藤原 昭男 委員
横川 裕 委員、高橋 裕司 委員、柴田 亮 委員

4 議事次第

- ② 開会
- ② 委員長挨拶 山崎 英樹飯南町長
- ③ 出席者紹介
- ④ 議事
 - (1) 第6回委員会以降の取組経過の報告
 - (2) 志津見ダム水源地域ビジョン後期版の作成について
 - (3) 志津見ダム水源地域ビジョンの今後の予定について
 - (4) 志津見ダム貯蔵酒試行内容及びスケジュールについて
 - (5) その他
- ⑤ 閉会

5 配布資料

- 資料-1 第6回委員会以降の取組経過報告書
- 資料-2 平成29年度アクションプラン実施内容報告書
- 資料-3 志津見ダム水源地域ビジョン後期版(案)新旧対照表
- 資料-4 平成30年度アクションプラン実施計画(案)
- 資料-5 第1回変更 地域活性化に資する志津見ダム貯蔵酒試行計画(案)
- 参考資料1 志津見ダム水源地域ビジョン推進委員会設立趣意及び規約
- 参考資料2 志津見ダム水源地域ビジョン(中期版) 概要版

6 委員長あいさつ

- ・ 本推進委員会は、平成23年度にスタートして今年で7回目の開催となり、志津見ダム水源地域ビジョンに基づき実施されているアクションプランについて、実行支援やフォローアップをしていく役割を担っている。
- ・ 志津見ダムの定礎に「命の水 命のダム」「願い・豊かなくらし」という言葉が刻まれているが、こうした志津見ダムの意義や、協力していただいた皆様のお気持ちをいつまでも忘れずに、しっかりと私たちがこの胸にとめていかななくてはならないと考えている。
- ・ 志津見ダムを地域の宝と捉えて、この水源地域ビジョンの取り組みの一つ一つが積み重なり、この志々地区全体がさらに元気な地域になっていくように期待している。

- ・ 志津見地区では、地域の皆様の工夫や努力によって若い人が増えている。
- ・ わっしょい志々会の皆様の運営により、昨年 10 月からさつき会館内に日用品などの販売を開始し、多くの住民の方が利用されていると聞いている。地道ではあるが、こうした地域力を発揮していただいております、本推進委員会としても、あるいは飯南町としてもしっかり地域と連携していかなくてはならない。

7 議事要旨

① 第6回委員会以降の取組経過報告

- ・ 事務局より、第6回委員会以降の取組経過及び平成29年度アクションプランの実施内容について報告を行った。

② 志津見ダム水源地域ビジョン後期版の作成について

- ・ 事務局より、志津見ダム水源地域ビジョン後期版について説明を行い、承認された。
- ・ イメージキャラクターの活用については、「くにびきくん」、「ポピーちゃん」、「コスモスくん」だけでなく、「い〜にゃん」の活用も積極的に行う。
- ・ 家畜の放牧は以前から話が出ているが前向きに検討し取り組んでいく。
- ・ 植栽について、植えた後に芯が枯れる場合があるので、補修等の維持管理を継続して行う。
- ・ 名木についても、看板の設置を行うなどもっと周知を行うべき。
- ・ 野外コンサートの実施やフラワーバレーの山野草鑑賞エリアの整備を行うためには、具体的な実施内容を検討した方が良い。

③ 志津見ダム水源地域ビジョンの今後の予定について

- ・ 事務局より、平成30年度の水源地域ビジョンの今後の予定について説明を行い、承認された。
- ・ 田舎体験は、良い取り組みであり、継続することが大事なので、事業を続ける中で獅子地区をモデルケースとして、他の地域にも田舎体験が広がるよう取り組む。
- ・ 田舎体験の活動報告会では、空き家を活用したカフェの提案などを島根大学の学生にして頂いたが、田舎体験で交流が生まれた学生たちに、計画から実施まで携わって頂けるような環境づくりに取り組む。

④ 志津見ダム貯蔵酒試行内容及びスケジュールについて

- ・ 事務局より、ダム貯蔵酒の取り組み状況と今後の計画について説明を行い、承認された。

⑤ その他

- ・ 委員会規約第6条に基づき、議事内容の概要をとりまとめ、委員長の了承を得た上で、出雲河川事務所のホームページに公開する。

以上

2. 志津見ダム水源地域ビジョン推進委員会 第7回委員会の議事内容と対応状況

第7回委員会議事内容	平成30年度の実施内容
うぐいす茶屋のもみじのライトアップについて、もみじを十分に照らせていないので、照明の明るさや光の当て方などを検討する。また、国道184号沿線のもみじも大きくなってきているので、その箇所についてもライトアップを検討する。	平成29年度に新たに照明器（投光器）を購入し、平成30年度のライトアップで使用した。
ダム周辺には遊歩道や釣り場などの遊べる場所があればよいが、ダム周辺は急峻な地形で整備が難しいため、設置が可能かどうかも含め検討する。	ダム周辺は急峻な地形となっているため遊歩道、釣り場などの整備が難しい。また、危険な箇所が多く一般の方々に開放することができない。 今後、湖面利用のニーズを把握することを目的に、カヌーや釣り、ウォーキング等の愛好団体への聞き取り調査を実施し、併せて湖面利用ルールの方策に向けて施設管理者と協議を行いながら作業を進める。
ダムの上流にある公園には木陰がない状況なので、現在植えられている桜などの生育状況の調査した結果、生育状況の悪い樹木もあり、引き続き調査と対策検討を行う。	生育状況の悪い2本を撤去し、試験的にヤマザクラ1本とケヤキ1本を植樹した。来年度も他の生育状況の悪い樹木の撤去と、新規の植樹を行う。
神戸の森にアジサイ 350本の植樹を行い、来年度以降についても引き続き神戸の森への植樹を検討する。	新たにガクアジサイ 350本の植樹を行った。
八福神マップを活用した八福神めぐりイベントの展開と交流人口の拡大を目指す。	平成29年度に作成した「八福神マップ」を2000部を印刷し、地元への配布を行った。 今後、SNSや関係ウェブサイトを活用し、サイクリング・ウォーキングコースとしてのPRを積極的に行う。
イベント時に地元の子供達は巡視体験に参加できないため、地元住民向けの巡視体験を実施する。	10月下旬に地元住民（親子）を対象とした巡視体験を行った（参加者20名）。今後も呼びかける地域や実施時期を考慮しながら、志々地区全域の住民に体験してもらう事を目標とし、継続して実施する。
田舎体験は、良い取り組みであり、継続することが大事なので、事業を続ける中で獅子地区をモデルケースとして、他の地域にも田舎体験が広がるよう取り組む。	平成30年度についても、獅子地区での田舎体験を実施し、秋の運動会や例大祭にも学生が参加したことで、獅子地区以外の住民とも繋がりができた。
ポピー・コスモスの肥料の投入量を増やし、地力の回復を目指す。 また、ポピー・コスモスに続く夏の花の検討を行う。	平成30年度はポピー・コスモスの花が過去数年に比べ生育が良く、イベントの際のアンケート調査結果での「花が少ない」という意見は大幅に減少した。 また、夏の花としてフラワーバレーにヒマワリの植栽を行い開花した。